

山際景子

1983年、東京生まれ。ロンドン芸術大学 Central Saint Martins 校、東京藝術大学大学院デザイン科修士課程修了後、現在はドイツを拠点に活動している。

2005年より、自身のプロジェクト Relation-shape を展開。身体・布・空間を用いた参加型パフォーマンスおよびインスタレーションを通して、人間関係の「形」を可視化し、20年以上にわたり発展させてきた。

参加者は友人や恋人、見知らぬもの同士、あるいは作家と共に半透明の伸縮性布の中に入り、互いの呼吸や視線、動きを感じ取りながら、関係性が立ち上がる生成体験を行う。そのプロセスの一部は、写真・デジタルプリント・映像・インタビューなど多層的なメディアで表現される。近年は最大170人が参加する大規模プロジェクトも実施。

AIが台頭する現代において、参加者や鑑賞者が自己や他者、社会との関係を身体的・感覚的に体感できる場を提示する。

主な展示に Scope Art Show (マイアミ、2025年) をはじめ、日本・ドイツ・チェコ・モナコ・香港での個展やグループ展多数。